



クルミ樹皮籠「連理」(一対作品) 左 w440×d100×h430mm / 右 w470×d100×h360mm 2013 京展 京都市美術館長奨励賞



土井 良子 Doi Ryoko

暮らしの中から生まれた、こだし、編み組みの籠…等に触れ、自然の悲しい程の厳しさ、強さ、美しさに魅せられ取り組んできました。心を映したい、命を吹き込み表現したい、という気持ちはいつも、忘れず持ち続けています。

御縁をいただきました工芸家協会。刺激を受ける限りない成長の場と考え、精進いたしたく思います。

1953年函館生。1975年日本火災海上保険(現・損保ジャパン)退社。1998年結婚を機に男鹿半島加茂青砂(あおさ)に移住。蔓・樹皮編みを始める。